

## 創造性を育む研究開発コロキアム

教育学研究科研究科長 矢野智司

大学院教育学研究科・教育学部は、来年度で創立 60 周年を迎えます。本研究科・学部は創立以来、一貫して高度な教育と研究とを実現し、優れた研究者・専門家を育成し、戦後の日本の教育学・心理学研究をリードしてきました。教職員・学生数では京都大学で最も小さな研究科・学部ですが、これまで果たしてきた役割はとて大きなものでありまし、これからもそうありたいと願っています。

本研究科は、教育と人間にかかわる多様な事象を対象とした諸科学を考究することで、理論と実践とを結びつけた心・人間・社会についての専門的に高度な識見ならびに卓越した研究能力を養成し、さらに、広い視野と異質なものへの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力を形成し、人間らしさを擁護し促進する態度を啓培することで、地球社会の調和ある共存に貢献できる高度な専門能力を持つ人材の育成を目的としています。これは一般的な目的の記述ですから、今日のように世界が高速度・高密度でダイナミックに変化していく時代においては、この目的を今日の状況にあったより具体的な目標に、読みかえていく必要があります。

このような教育目的の具体化の試みは、カリキュラムの再編や自己点検・評価の強化や FD の実施など、さまざまな形でなされていますが、それが最も先鋭的に実現されているのは、外部の競争資金によって進行しているプロジェクトです。本研究科では、現在、つぎの3つのプロジェクトが同時並行的に進行しています。(1)グローバル COE(教育学研究科拠点：平成 19-23 年度)「心が活きる教育のための国際的拠点」、(2)概算プログラム(平成 19-23 年度)「子どもの生命性と有能性を育てる教育・研究推進事業」、(3)大学院 GP(平成 19-21 年度)「臨床の知を創出する質的に高度な人材養成(京大型臨床の知創出プログラム)」、グローバル COE では心理学・教育学の研究教育を中心に、また概算プログラムでは実際の教育問題の解決という実践と若手研究者の育成を中心に、そして大学院 GP では大学院生の教育を中心に、それぞれが精力的に動いています。

「研究開発コロキアム」は、この3つのプロジェクトが目指しているそれぞれの教育目的を実現する大学院授業科目の一つで、大学院生が主体の課題探求・討論科目です。大学院生の研究能力、創造性、問題解決能力、研究マネジメント能力、研究リーダーシップなどを育成し、大学院生の学術研究活動の発展を図ることを目的として開講されたものです。各研究プロジェクト(共同研究・学術調査・研究開発などの学術研究活動)は前年度末に大学院生を対象に公募します。講座や専攻の枠を越えた領域横断的研究を計画・組織することが推奨されています。各選考委員会において、優れた研究計画に対し、科学研究費に準ずる形式でその研究の一部を助成しています。そして採択された研究プロジェクトは、大学院科目「研究開発コロキアム」として編成され、担当教員が決められ、授業時間割に組み込まれるのです。授業科目ですから、修士課程の場合は単位認定の対象となります。

2005年度の「魅力ある大学院教育」イニシアティブ以来、研究開発コロキアムが継続され、毎年優れた報告書が作成されてきました。本年もまたこのような高い研究成果をあらわす報告書ができましたことは、「研究開発コロキアム」が優れたカリキュラムであることを示すとともに、また本研究科の院生諸君が優れた研究能力を発揮していることを示すものであり、大変誇りに思っております。